

事業所における自己評価総括表

○事業所名	江戸川区臨海育成室			
○保護者等 評価実施期間	令和 6 年11月 5 日 ～ 令和 6 年11月29日			
○保護者等 評価有効回答数	【対象者数】	33名	【回答者数】	33名
○職員 評価実施期間	令和 6 年11月 5 日 ～ 令和 6 年11月29日			
○職員 評価有効回答数	【対象者数】	10名	【回答者数】	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや組織的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感を持ち、楽しみに通室してきている 利用者の満足度の高さ	児童発達支援管理責任者研修受講者を各チームに配置し、専門職員と共に支援プログラムの検討や、内容の工夫をしている	次の登室を楽しみにできるようにスモールステップの積み重ねや次回につながる継続した活動を通して、取り組みへの意欲を育んでいく
2	保護者の希望を取り入れた家族講座・講演会の充実	内容について、保護者アンケートであったテーマと各クラスの子どもの姿に合ったテーマで検討し、決定している	保護者のニーズに合ったものをタイムリーに提供できるよう計画、柔軟な対応をしていく
3	支援に携わる職員の意見交換や情報共有できる様々な会議の充実	年間を通して予定をたて、直接支援者となる集団療育担当と個別療育担当職員が密に連携し、情報を共有して支援を実施している	信頼を寄せてもらえるよう、それぞれの専門性を活かしたチーム力を維持していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの確保	アットホームな小さな事業所ではあるが、運動プログラムの構成や配置などの工夫が必要である	ダイナミックに活動ができるスペースの確保、物の配置、隣の子との距離の確保を支援実施前会議で確認をする
2	きょうだいへの支援	きょうだいへの支援についてどのような内容を求めているのか、室長面談等で希望や思いを把握する	保護者のニーズに合わせた内容で次年度のイベント等を計画し、開催する
3	面談の満足度	利用者からの相談等に丁寧に寄り添い、傾聴や助言を行っているが、発信の少ない保護者へのアプローチが不足していた	定期的な面談においては、説明力を向上させる それ以外の面談は保護者の申し出で随時行っているが、申し出のない保護者にも育成室側からひと声かけて日頃からコミュニケーションを図り、必要に応じて面談を実施し平等性を保つ